社会資本総合整備計画　　中間評価書

令和08年10月19日

計画の名称	宮古島市の住宅市街地の環境改善												
計画の期間	令和０７年度　～　令和０８年度　(2年間)									重点配分対象の該当			
交付対象	宮古島市												
計画の目標	・竹原地区は、宮古島市の中心市街地から東に位置し、広域幹線道路と旧平良市の都市軸が交差する交通の要所である。地区内および周辺の都市計画道路はほぼ整備が済んでおり市街地化が進んでいる。しかし、幹線道路以外の生活道路の整備は十分でないうえ老朽化した家屋が密集し住環境の改善が求められている。このため土地区画整理事業により公共施設の整備改善を行い、低未利用地の有効利用及びスプロール化を抑制し宅地の利用増進を図る。 目標１　老朽化住宅の機能更新の促進・・・老朽化住宅の機能更新の促進、改善などにより居住環境の改善を図る。 目標2　住環境による世帯の増・・・宅地やスプロール化を防止するとともに、良質な住環境を整備し世帯数の増加を図る。 目標3　世帯数増加に伴う人口増・・・生活道路や公園・広場の整備を行い市街地環境改善に取り組んで人口増を図る。												

全体事業費（百万円）	合計（A＋B＋C＋D）	2	A	2	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C／（A＋B＋C＋D）	0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		R7当初		R8末
1	地区内の居住環人口を1200人（R7当初）から1500人（R8末）に増加			
	住民基本台帳による地区内居住人口	1200人	人	1500人
2	地区内の世帯数を350世帯（R７当初）から410世帯（R8末）に増加			
	地区内の世帯数の増加	350世帯	世帯	410世帯
3	老朽化住宅の更新25戸（R７当初）から25戸（R8末）と同数			
	老朽住宅の更新戸数	25戸	戸	25戸

備考等	個別施設計画を含む	－	国土強靱化を含む	－	定住自立圏を含む	－	連携中枢都市圏を含む	－	流域水循環計画を含む	－	地域再生計画を含む	－

案件番号：　0000781384

A 基幹事業

基幹事業（大）	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別１	種別２	要素となる事業名（事業箇所）	事業内容（延長・面積等）	市区町村名／港湾・地区名	事業実施期間（年度） R07	R08	R09	R10	R11	全体事業費（百万円）	費用便益比	個別施設計画策定状況
		一体的に実施することにより期待される効果																	
		備考																	
市街地整備事業	A13-001	市街地	一般	宮古島市	直接	宮古島市	－	－	竹原地区土地区画整理事業	都市再生区画整理　Ａ＝２３．６ｈａ	宮古島市	■	■				2	－	－
											小計						2		
											合計						2		

案件番号：　0000781384

中　間　評　価

○中間評価の実施体制、実施時期

中間評価の実施体制	中間評価の実施時期
本事業の事業期間は今年度が最終年度であるため、必要に応じてフォローアップを実施する。	事業期間2年のため、事業開始後1年時点の中間評価を実施する。
	公表の方法
	中間評価結果は報告書とし取りまとめ、事業実施主体のウェブサイトに掲載する。

○事業効果の発現状況

定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	進捗なし。
定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況（必要に応じて記述）	関係住民・権利者との調整は概ね解消され、円滑な工事着手に向けた基盤が整いつつある。

○特記事項（今後の方針等）

今後の方針として、今年度中の工事完了にむけて、工程管理を厳格化するとともに、施工業者との契約等を早期に開始する。

○目標値の達成状況			
番号	指標（略称）		
	目標値／実績値		目標値と実績値に差が出た要因
1			
	中　間 目標値	人	
	中　間 実績値	1200人	
2			
	中　間 目標値	世帯	
	中　間 実績値	350世帯	
3			
	中　間 目標値	戸	
	中　間 実績値	25戸	

案件番号：0000781384